

① 学習指導案

プログラム	No. 05 「地域カルタをつくろう」
単元名 (全10時間)	地域カルタをつくろう
学習のねらい	こども自然公園宿泊体験学習の体験をもとに、南本宿周辺の地域のカルタをつくろう。
学習内容	1 体験学習を振り返り、カルタに使う内容を考えよう。 2 言葉を選んでリズムよく、読み札の文をつくろう。 3 友達と読み札の文を読み合って、より良い文にしよう。 4 取り札の絵をカードに描いて、カルタを完成させよう。
参考資料 準備品 実施場所等	写真、カラーマジック、パス、絵の具、上質画用紙 4-1教室

学習の流れ

時間	学習活動	教師の指導	評価
1	○こども自然公園宿泊体験学習の記録をもとに、かるたの題材となるものを選ぶ。	・ロイロノートを活用し、グループ、全体で情報共有できるようにする。	・ロイロノートのカード
2～ 3	○かるたの読み札の部分をリズムよく作る。	・五七五のリズムを基本として、俳句を作る時のように言葉を選べるように支援する。	・リズムや読み札の言葉全体の意味を考えて、適切な言葉を選べているか。
4～ 5	○南本宿小学校の周辺の地域にあるものから、かるたの題材となるものを選ぶ。	・体験学習時に撮った写真も含めて、子どもたちが暮らしている本校の周辺地域の写真を提示し、題材を選ぶことができるようにする。	・自分が住む地域に興味をもち、題材を選ぶことができているか。
6～ 7	○かるたの読み札を作る。	・自分が表したい内容を入れて五七五のリズムの読み札になるように助言する。	・五七五のリズムに合わせて言葉を選ぶことができているか。

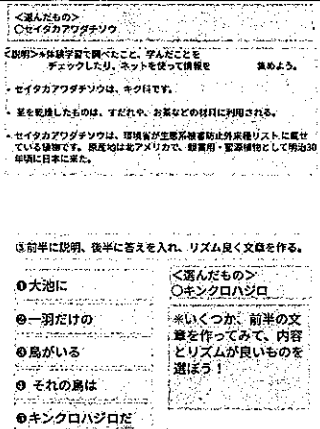
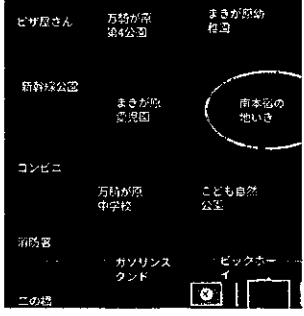

8～ 9	○読み札に合わせた絵を描き、取り札をつくる。	・色鉛筆を使ってカードに丁寧に絵を描けるようにする。	・意欲的に取り札作りに取り組みることができているか。
---------	------------------------	----------------------------	----------------------------

<留意点>

○自分たちが住む、本校周辺の地域に対して愛着をもち、その魅力を再発見することができるようにする。

② 事業実施報告書詳細

学校名 横浜市立南本宿小学校

時間数	場所	概要	活動記録(写真)	対象者の反応
1	教室	・こども自然公園体験学習を振り返ろう		・体験学習楽しかった。生き物も植物のこともたくさん知ることができた。
2		・かるたの作り方を知り、言葉を集めよう。		
3		・かるたの読み札の部分をリズムよく作る。		・五七五のリズムに合わせるのが難しいな。
4・5	教室	・南本宿小学校の周辺のものから題材となるものを選ぶ。		・この学校の周りにはいろんな場所がある。
6・7		・かるたの読み札を作る。		・放課後に行く場所も入れていいですか。
8・9		・読み札に合わせた絵を描き、取り札をつくる。		・取り札に描く絵を描くのに写真がほしい。 ・細かいところまで丁寧に描けた。

③ 実施内容について

<p>(1) 実施にあたり工夫した点</p> <p>本校の4年生は、近隣にある「こども自然公園」に宿泊体験学習に行くことになっている。体験学習に向けて、森を守り、育てる事業について、社会や理科、道徳などの教科とも関連させ、総合的な学習の時間の中で調べ学習を行った。間伐がなぜ行われているのかを調べ、体験学習の中では実際に間伐の体験も行うことで、子どもたちにとって実感の伴った学びになるように工夫した。また、近隣の公園や、施設、お地蔵さんや小さな川など、子どもたちの普段の生活の中で目にしているが強く注目してきていないものについても、授業開始初期に写真を提示して取り上げ、子どもたちが自然と興味をもち、注目していけるように配慮した。</p>
<p>(2) 実施にあたり苦勞した点</p> <p>かるたの読み札を作るに当たって、基本的に五七五のリズムを使って作るように指導してきたが、自分が言いたいことを上手く17文字の中に入れることができないでいる児童の思いを、やり取りの中で捉え、適切なアドバイスをして、児童が自分で言葉を選んでいくことができるようにしたが、中々難しかった。子どもたちの国語力をもっと高めていけるようにしたい。</p>
<p>(3) 児童の反応</p> <p>普段、目にしているが深く調べたことがなかった、自分たちが住む地域の場所、ものなどについて、新たな発見があり喜んでた。大人にとっては当たり前な場所も、名前を含め、「初めて知った!」という児童も多くいた。これをきっかけとして、自分たちが住む「まち」に愛着をもち、成長して行ってほしいと思う。</p>
<p>(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化</p> <p>自分は地方の出身者であり、神奈川県や横浜市で子ども時代を過ごしたわけではないが、勤務している本校の周辺の地域について、今回の授業を通して、新しい発見をし、魅力を感じることができた。</p>
<p>(5) 今後の課題と取り組み〔児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等〕</p> <p>今回は4年生での取り組みだったが、低学年からの「まちたんけん」や、放課後の遊びにおいて、子どもたちが普段の通学路以外の場所を知っていたことも、かるたの題材を探すときには役に立った。</p>


事業実施報告書詳細

ここでは事業実施報告書に含むことができなかった内容について、記述します。


① こども自然公園宿泊体験学習に向けての学習について

・本校の4年生の宿泊体験学習は、近隣にある大きな「こども自然公園」へ徒歩で移動し、2日間、主にその公園の中で、環境に関する様々な学習を行う。自然に詳しいガイドの方についていただいて、公園内の自然観察、草木染め体験、間伐体験などを行った。下の写真は、体験学習に向けて行った調べ学習からの抜粋です。

山に木が育つと、どんな良いことがあるのか、調べてみましょう。




森が良くなると

- 木材を使った家具などを作れる
- ・ 森の木の割り箸がなくなる
- ・ SDGs にもなる
- ・  が出来る

森を良くするために
人が森に木を植えたりしている場合もあるそうです

間伐に着いて




- ・ なぜ間伐をするか？
山ができて木を植えすぎて、そのまま育ってしまうと山を進む道がなくなってしまうので間伐をします。
- ・ 間伐をしたらいい事
山の木と木の間に隙間が出来て森全体が生き生きする → 健康な森林に育つ。

林内に適度に光が射し込み、下草などの下層植生が繁茂しているため、水源かん養機能や土砂流出防止機能が高くなる。幹が太く、生育が良くなり、風や雪にも折れにくくなる。下層植生が豊かになり、多様な生物の生息を維持できるようになる。

山に木が育つと、どんな良いことがあるのか、調べてみましょう。

山の樹木は、地中にしっかり根を張っていて土や石をつかまえているので、土が流されないよう斜面に繋ぎ止める働きをしています。山に木が生えていないと、大雨が降った時に山の土が雨で削り取られたり、土や石が流れ出して土石流となり、災害につながる可能性があります。

木がなくなると、山に降った雨はすぐに流れてしまい、下流に洪水を引き起こしやすくなります。この時に、土や養分も一緒に流されて山には植物も生育できなくなります。



② かるた作りの中で育った力について

- ・かるた作りを含む一連の活動の中で、子どもたちはこれまで以上に自分たちの住む地域の環境に目を向け、そこに住む生き物や植物に興味・関心をもつきっかけとなった。
- ・インターネットを使った調べ学習や、こども自然公園のどろんこクラブの職員の方々へ子どもたちが質問し教えていただいた活動などを通して、子どもたちの情報収集力が高まり、自分たちで興味をもった内容を進んで調べる態度も身につけてきた。
- ・ネットで調べた内容の中には、4年生までの国語の学習では学んでない漢字・語句も含まれていたが、子どもたちは、担任に聞いたり、自分でネット検索をするなどして、内容を理解しようと主体的に学習に取り組む姿勢が見られた。

山に木が育つと、どんな良いことがあるのか、調べてみましょう。

・森林は環境に優しい資材である木材の生産のほか、各種の抽出成分、きのこなどを提供しています。森林は光合成により二酸化炭素を吸収し、炭素を固定して、地球の温暖化防止に重要な役割を果たしています。

南本宿の地域のカルタを作ってみよう。

- ・たけのこ公園、たけのこ沢山美味しそう
- ・南本宿公園、自然がいっぱい、楽しいな
- ・牛角屋、美味しい焼肉、ありがとう

③前半に説明、後半に答えを入れ、リズム良く文章を作る。

①大池に	<選んだもの> ○キングロハジロ ＊いくつか、前半の文章を作ってみて、内容とリズムが良いものを選びよう！
②一羽だけの	
③鳥がいる	
④ その鳥は	
⑤キングロハジロだ	

南本宿の地域のカルタを作ってみよう。

- ・小学校・友達たくさん・幸せだ
- ・一の橋・いろいろな音が・聞こえるよ
- ・

②その説明を考える。
→ちょっとマニアックな説明の方が、カルタとして面白いかも。

<選んだもの>
○セイタカアワダチソウ

<説明>*体験学習で調べたこと、学んだことをチェックしたり、ネットを使って情報を集めよう。

- ・セイタカアワダチソウは、キク科です。
- ・茎を乾燥したものは、すだれや、お茶などの材料に利用される。
- ・セイタカアワダチソウは、環境省が生態系被害防止外来種リストに載せている植物です。原産地は北アメリカで、観賞用・蜜源植物として明治30年頃に日本に来た。

山に木が育つと、どんな良いことがあるのか、調べてみましょう。

森が良くなると
→・木材を使った家具などを作れる

- ・森の木の割り箸がなくなる
- ・SDGsにもなる
- ・ が出来る

森を良くするために
人が森に木を植えたりしている場合もあるそうです

